



デジタルコンテンツの一例として、以下のようなものがあげられます。1つのデジタルコンテンツが複数集まり、まとまっているものです。ぜひ、リンクを閲覧して、デジタルコンテンツに触れてみてください。

Prime video キッズ

<https://www.amazon.co.jp/gp/video/kids>(参照日:2024/10/25)

NHK for School

<https://www.nhk.or.jp/school/keyword/?grade=g0&cat=all&from=1>

(参照日:2024/10/25)

独立行政法人教職員支援機構・動画教材リンク集

<https://www.nits.go.jp/materials/link.html>(参照日:2024/10/25)

Q2. デジタルコンテンツの特長を考えます。5分考えて、以下に記述ください。

「デジタルコンテンツの異なる種類の具体例を5つ表にまとめます」

| 内容         | 特長1           | 特長2            |
|------------|---------------|----------------|
| (例)YouTube | 視聴だけではなく投稿できる | 音楽や番組などジャンルが豊富 |
|            |               |                |
|            |               |                |
|            |               |                |
|            |               |                |
|            |               |                |

デジタルコンテンツには、様々な特長があります。日頃、特長を比べることがなくても、上記のような表にまとめると共通の特長があり、デジタルコンテンツには、ユーザーに好まれる特長が多く採用していることが分かります。

### デジタルコンテンツの使い手として求めること

Q3. 次に、YouTube(デジタルコンテンツ)を例に、より快適に閲覧するために求めることとして、動画再生で遅延がないことをあげました。ここでは、あなたが考えるデジタルコンテンツに使い手として求めることを3つ、5分で考えて、以下に記述ください。

「あなたがデジタルコンテンツを使用する時に求めること、上位3つをまとめます」

| デジタルコンテンツ  | 求めること        |
|------------|--------------|
| (例)YouTube | 動画再生で遅延がないこと |
|            |              |
|            |              |
|            |              |

デジタルコンテンツとしてデジタルドリルを一例にします。求めることとして、操作が簡単で、フィードバックが速いことをあげました。他にも、以下のような求めることがあげられます。

- ・クイズやポイント獲得の双方向のゲーム的要素がある
- ・使い手に語り掛けるキャラクター(やアバター)が存在する
- ・進捗の確認、課題をクリアする達成感を得られる仕組みがある
- ・個人で孤独に向き合うのではなく、使い手同士の軌跡を見ることができる

以下のデジタルドリルの Web サイトにアクセスして、上記の求めることを確認してみよう。

<https://tabdri.jp/service/>

### デジタルコンテンツを制作する時の手順

Q4. デジタルコンテンツの作り手として、どのような順序でコンテンツを制作するか、5分以下にその手順を書いてください。

「あなたがデジタルコンテンツを制作するときの手順について考えてください。一つの例として、Power Point で授業用の説明スライドを作成する時に、どのような手順で、スライドを作成していきますか？」

①

②

③

④

以下に、手順の一例を示します。

①まず、デジタルコンテンツの使い手の対象は誰なのか、そのスキルや理解度はどの程度なのかを考えます

②次に、日頃から、授業内外で、どのようなデジタルコンテンツに慣れ親しんでいるのか調べます

③そして、下書きシートのようなものに、文字や写真、動画などを配置、双方向のやり取りができるイメージをつくります

④利用者に使用履歴、進捗状況などフィードバックができ、利用者からのデジタルコンテンツの評価を集め、改善に活かす

### <演習> PowerPoint でオンライン教材(デジタルコンテンツ)を制作する

実際に、PowerPoint で作成しているスライドをビデオ教材にしてみます。

① PowerPoint のファイルを用意します

② 図のように[ファイル]-[エクスポート]-[ビデオの作成]の順で作業を進めます



③ スライドに音声で説明を付けていきます

④ 最後のスライドまで音声を付けることができれば、ビデオとして保存します

操作手順は、Yahoo や Google で「PowerPoint のプレゼンテーションをビデオとして保存する」で検索すれば、いくつか表示されます。ぜひ、一度試してみてください。